

2026年1月1日

## 2026年 安全衛生管理 基本方針

KCA L&E 株式会社

取締役社長 星山 峰幸

昨年度は、「日々災害・事故ゼロの職場」と「心身ともに健康で明るい職場」の実現を目標に、安全衛生活動に取り組んでまいりました。その結果、休業無災害継続日数は、運輸部で300日、旧CEでは5,464日を達成しました。

一方、昨年3月6日には化学薬品の顔・頭部への飛散による重大な労働災害が1件発生したほか、依然として交通事故および構内での車両接触事故が8件、さらに作業事故や事故につながりかねないミス、ヒヤリハットも発生しております。

当該の重大災害は、濃硫酸容器群に苛性ソーダ容器が混在した状態で、従来どおり継ぎ足し作業を行った際に、酸・アルカリの急激な反応による突沸が発生し、薬品が飛散したものです。

KCAグループで災害発生の都度情報共有を行い、設備面での対策、再教育および原因の周知徹底を図っておりますが、昨年度も災害ゼロを達成することはできませんでした。

また、ストレスチェックの組織分析結果では、前年と比較して健康リスクの改善傾向が見られたものの、健康診断結果では新潟地区で8割以上の従業員が再検査または要治療となっており、十分な改善には至っていないのが現状です。(全体で69.7%が再検査)さらに、交通事故および構内車両接触事故が継続して発生していることから、現在実施している対策やチェック体制を継続するとともに、安全教育や設備改善を含めた「事故を発生させない体制づくり」と、心身の健康改善に向けた健康管理体制の一層の充実を図ってまいります。

本年の片倉コープアグリ株式会社の安全衛生管理指針は、次の項目の労働安全衛生方針に基づき、最重点施策に取り組むこととしています。

### I. 労働安全衛生方針

- ・安心・安全な職場の実現に向け、労働安全衛生リスクの低減に努める。
- ・労働安全衛生に関する法規制および社会的要求事項を遵守する。
- ・労働安全衛生活動の年次計画に基づき、全員参加で取り組む。
- ・当社の安全衛生マネジメントシステムを JIS Q 45001 (2018年版) に適合させ、構

築・維持・継続的改善に努める。

## II. 最重点施策

### (1) IS045001 の取得と労働安全衛生マネジメントシステムの運用

IS045001 に基づく労働安全衛生マネジメントシステムを運用することにより、

- ① 全員参加による安全衛生活動の推進体制の構築
- ② 危険源の除去による労働安全衛生リスクの低減
- ③ 関係法令および片倉コープグループが同意する要求事項の遵守
- ④ 指差呼称の定着

を徹底する。

### (2) リスクの高い化学物質管理の強化

劇物、消防法関連物質（危険物・指定可燃物・消防活動阻害物質）、特定化学物質および有機溶剤についてリスクアセスメントを実施し、危険源の特定からリスク低減対策までを確実に進める。

### (3) 熱中症対策の強化

設備改善が必要な箇所については適切な設備投資を行い、職場環境の改善を図る。また、工場職場へヘルスウォッチを導入し、従業員の体調管理を徹底する。

### (4) メンタルヘルス対策

2025 年度ストレスチェックにおいて総合健康リスクが 120 以上となった職場では、アクションプランに基づく改善に取り組むとともに、法令に基づきストレスチェックおよびメンタルヘルス研修を実施する。

以上を踏まえ、KCA L&E(株)として 2026 年も引き続き「日々災害・事故ゼロの職場」と「心身ともに健康で明るい職場」を目標として、次の項目に取り組みます。

1. 親会社と一体となった各種活動・訓練の実施
2. 想定訓練・危険体感訓練による安全意識および非常時対応力の向上
3. リスクアセスメント活動の活性化
4. 5S 活動の継続による職場環境の改善
5. ヒヤリハット抽出活動の推進
6. 交通事故防止への取組強化
7. 健康診断およびストレスチェック結果に基づく心身の健康管理フォローの実施

従業員一人ひとりが「絶対に災害・事故を起こさない」という強い意志を持ち、法令遵守および安全規則の遵守を徹底するとともに、積極的に安全衛生活動へ参加し、相互のコミュニケーションを図りながら、目標達成に向けて取り組んでいきましょう。

以上